



令和8年度なは市民協働大学の“なう（今）”をお届けします！

なは市民協働大学だより

vol.02

第3回

2026.8.20

令和8年度テーマ

『話す！つながる！動き出す！災害に強いまちをつくろう～求む！未来の防災リーダー～』

1 那覇市における防災の取組み__前半

講師：那覇市防災危機管理課 仲宗根 守章 主幹

講座のポイント

1. 那覇市地域防災計画について
2. 自主防災組織や那覇市が開催した防災イベントについて
3. 令和8年熊本震災の支援について

仲宗根主幹からは、「那覇市地域防災計画」について、防災計画のポイントとして①災害をすばやく伝える仕組み、②女性や高齢者、障がいがある方などの避難所運営体制の強化、③地域の防災力アップへの普及啓発についてお話がありました。また地域住民による防災グループ「自主防災組織」や那覇市が過去に交付した防災資機材についても説明がありました。そして、那覇市が実施した防災イベント「防災中」や「お笑い避難訓練」、「りっか！今からはじめる！避難訓練-逃げるはLINEが役に立つ-」など個人や地域で取組める防災について紹介がありました。

また、講師を務めてくださった仲宗根主幹が「令和8年熊本震災」の発災直後に職員派遣として熊本に支援に入られた経験のお話を写真も交えながら紹介いただきました。発災2日目から約1週間の間の避難所の様子から車椅子通行位置マーキング、仮設トイレ配置配慮、支援物資に書かれたメッセージにも触れられ、熊本派遣の経験からも公助だけでは災害を防ぐことには限界があり、自助・共助のバランスが大切であることが伝えられました。



講師：仲宗根 守章 氏



講師に質問している様子



講座の様子

2 那覇市における防災の取組み__後半

講師：那覇市消防局総務課 源河 北斗 副参事

講座のポイント

消防局を実地見学！

- 1 新・高機能消防指令システムを見る！知る！
- 2 “備え”を供える！

講座の後半は、協働プラザ1階ピロティに集合し、消防局源河副参事の案内のもと、消防局に見学に行きました。今年度4月から導入された「新・高機能消防指令システム」を配備した指令室を実際に見ながら、システムの機能について説明を受けました。また、那覇市は、人口に対して、全国で2番目に救急車の稼働率が高いとの説明もあり、説明を受けている間にも出動する車両を目の当たりにしたりと、臨場感あふれる現場での見学となりました。受講生からは、「道幅が狭い道路を走れるよう小型の消防車両はないのか」や「首里城火災を経て、消防にて変化したことはあるか？」との質問も寄せられ、それに対して源河副参事からは、消防車両の高機能化のため小型化は難しいこと、首里城火災後の再発防止への取組みについての説明があり、その他にも受講生からは次々と質問が飛び出していました。

また、この日は旧盆前ということもあり、親戚が集まる機会に防災グッズを広め、家族を守る一助として「備えを供える！」と源河副参事から、締めくくられ、受講者が笑顔で頷く様子が印象的でした。

公務員の方々が自身も被災者でありながら災害対応や住民救助にあたらなければならないことを考えると、自分たちも身の安全を守るため、自助、共助、公助のうち特に自助と共助について、講義で学んだことを家族や友達、職場の同僚等に伝えていかないと強く感じました。

実際に消防局の指令室を見学させていただく貴重な体験もあり、テレビで見たことのある最新の指令室の様子を目の当たりにして凄く貴重な体験をさせていただきました。お盆のお中元に防災食の“備えを供える”！

受講生の感想



講師：源河 北斗 氏



消防局施設見学の様子①



消防局施設見学の様子②

「なは市民協働大学だより」では、各講座の様子をお届けします！
「なは市民協働大学」ってどんなことするの？何が学べるの？と気になる方は、ぜひご一読ください。

那覇市市民文化部まちづくり協働推進課
担当：里井、竹尾、高橋

E C-KATU005@city.naha.lg.jp

T 098-861-5024